

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- \*賛美 …………… 210番
- \*交読文 …………… 49番
- \*使徒信条 …………… 会衆一同
- \*頌栄 …………… 107番
- 礼拝のための祈り ……… 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 …………… 350番
- メッセージ …………… サウロからパウロへ(使徒 26:9-18)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 485番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- \*主の祈り …………… 会衆一同
- \*祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

起きよ、光を放て。\_\_\_\_\_の光が臨み、主の栄光が\_\_\_\_\_の上ののぼったから。  
 見よ、暗きは地をおおい、闇は諸々の民を覆う。しかし、\_\_\_\_\_の上には主が朝  
 日のごとくのぼられ、主の栄光が\_\_\_\_\_の上にあられる。  
 諸々の国は、\_\_\_\_\_の光に来、もろもろの王は、のぼる\_\_\_\_\_の輝きに来る。目  
 をあげて見ませ、彼らはみな集まって来る。\_\_\_\_\_の子らは遠くから来、\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_の娘らは、かいなにいだかれて来る。その時\_\_\_\_\_は見て、喜びに輝き、\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_の心はどよめき、かつ喜ぶ。海の富が移って\_\_\_\_\_に来、もろもろの国の宝  
 が、\_\_\_\_\_に来るからである。多くのらくだ、ミデアンおよびエパの若きらくだは  
 \_\_\_\_\_を覆い、シバの人々はみな黄金、乳香を携えてきて、主の誉を宣べ伝え  
 る。(イザヤ 60:1-6)

大宣教者として有名なパウロ(ユダヤ名:サウロ)は、タルソス出身の生まれながらのローマ市民で、ガマリエルの下で高等教育を受けた生粋のパリサイ人であり、血筋も育ちも能力も、全く申し分ない者だった。当時パリサイ派の中では、ナザレのイエスは、メシヤを自称し、神を冒瀆する者だとの見方が強く、ナザレ派(キリスト教)は異端の新興宗教であった。サウロはどういうわけか、執拗と思えるくらいキリスト者への迫害に熱心で、「迫害者サウロ」として恐れられた。彼はなぜ、そのようになってしまったのだろう。

サウロはその育ちの故に、律法への熱心については、周りの人と比較するなら完璧な自信とプライドを持っていたが、同時に、律法の聖なる境地には決して辿りつけない惨めな自分に矛盾を抱いていた。そんな彼が、キリスト者であるステパノの処刑に立ち会った時、かなりの衝撃を受けた。(使徒 7:54-60) サウロの仲間達が暴言を叫びながらステパノに殺し、ステパノは多くの手で掴まれ、殴られ、もみくちゃにされ、外に引き摺り出され、よってたかって石を投げつけられているのに、彼は棄教したり命乞いしたり罵り返したりせず、御使用のような趣で、聖なる平安に満たされ、しかも、殺そうとしている自分達のために神に執り成して祈ったのだ。なぜか？それは彼は、神の右に立っておられるキリストを見たからである。キリストの品性は聖であり、平安であり、ののしられてものしり返さず、最後までひたすら執り成し、赦す。そのキリストを見つめ、キリストに浸された者なら、キリストのご性質がどんな時でも噴出してしまおうのである。

サウロは相当ショックだったのではなからうか。一生懸命清く正しく生きて来たはずなのに、決して到達出来なかった聖なる趣、義なる性質を、自分より遥かに劣ったこの新興の異端集団が、自然に体現している。そんなハズは無い、絶対どこかでボロを出すはずだ、と、ますますキリスト者の家々を強襲し、男も女も牢にぶち込んで行くものの、彼が暴いていく家々、ぶち込んで行く人達は、あまりにしとやかで善良だった。彼は自分を保つため、自己正当化するために、ますますキリスト者を捕らえ、殺害しようと意気込み、ダマスコにまで行こうとした時、天からのまばゆい光が彼を包み、声がした。「サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか。とげのついた棒をけるのは、あなたにとって痛いことだ。」(使徒 26:14) 彼が「主よ。あなたはどなたですか。」と言うと、応えがあった。「わたしはあなたが迫害しているイエスである。」つまり、イエスを主とする兄弟姉妹を迫害する事は、イコール、イエスご自身を迫害する事である。

イエスは神の敵だと思っていたのに、太陽よりも輝く聖なる光、暖かい光に照らされ、サウロは「主よ」と言う以外に無かった。そして主は、実は彼が「とげのついた棒を蹴る」ように痛かった事を、知っていた。サウロは思ったろう。「なぜ私を知っているのですか？」「彼らを捕らえた時、彼らを牢に引きずる時、死刑に定めた時、実はとても痛かった事を、なぜあなたは知っておられたのですか？」と。サウロはどれほどショックだったのだろうか。自分はそれまで神に熱心に仕え、神に喜ばれる事をしてきたと思っていたのに、実はその逆をしており、神の反逆者と思っていたイエスこそ、実はメシヤだったのだ。彼はそれまで生きてきた人生、信じてきたアイデンティティが、ことごとく覆われたが、その経験こそ、十字架の死の経験である。私達キリスト者の歩みは、必ず、十字架の死と復活から始まらなければならない。

サウロは目からうるこが落ち、方向転換し、宣教者パウロとして神に用いられる器として生まれ変わり、かつての同窓生や友人に、裏切り者呼ばわりされる事を恐れず、主に示された通り、宣教者として歩み始めた。そうして走るべき道のりを走り切り、その道のりを終えた時、栄光の冠を堂々と受けるべく、殉教した。彼が命を終える時、ステパノのように、天が彼に向かって開かれ、栄光の御座におられる主を、見上げる事は出来ただろうか？当然である。それはイエスを主として走る者達全てに与えられている栄光である。あなたは自分が望む所に従って生きる者・サウロのまま終わるだろうか。それともキリスト者として改心し、自己に対しては小さき者、主にとっては偉大な働きの人、パウロとして終わるだろうか。主はこう言われる。「さあ起きあがって自分の足で立ちなさい。わたしがあなたに現れたのは、あなたがわたしに会った事とあなたに現れて示そうとしている事とをあかしし、これを伝える務にあなたを任じるためである。」(使徒 26:16)

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

日曜礼拝	
1部礼拝(韓国語通訳あり)	10:30
食事/フェローシップ	12:00~
2部礼拝	14:00
聖書の学び会	15:00

日々の集会		
月~金	早天祈祷会	5:00~
火・木	夜の祈祷会	21:00~
水曜集会		
1部		13:00~
2部		19:30~
金曜徹夜祈祷会		21:00~

### アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ!



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



モバイルサイト